

社会共創学部

本学部には、産業マネジメント学科、産業イノベーション学科、環境デザイン学科、地域資源マネジメント学科の4学科があります。これらの学科では、高等学校までの文系・理系に分かれた学びではなく、学部内の各学科が展開するカリキュラムを通じて、文系・理系の両方から社会共創の基礎となる知識や理論を学びます。本学部が用意した講義は、高校生の学力で十分に理解できる内容となっていますので、わかりやすく大学の授業での学びを体験していただく機会としてご利用ください。

社会共創学部

講義番号	教員氏名	講義テーマ
1	榊原 正幸 西村 勝志	社会共創学 - 地域社会の未来を共に創る人材をめざそう！ -
2	岡本 直之 徐 祝旗 廣垣 光紀 山口 信夫	身近なビジネスの仕組み
3	岡本 隆 川口 和仁 曾我 亘由 野澤 一博	経済学っておもしろい！
4	谷本 貴之 折戸 洋子 崔 英靖 園田 雅江	身近な話題から経営学を知ろう！
5	若林 良和	「ぎょしょく」で地域の水産物を理解する
6	後藤 理恵 松原 孝博	新養殖魚「スマ」の研究開発を通じて
7	松原 孝博 清水 園子	愛媛県の赤潮と漁場環境
8	内村 浩美	紙の機能と新たな紙製品開発の可能性 ～おもしろい紙を発明しよう！～
9	藪谷 智規	紙や小型装置を利用した分析・検査法
10	福垣内 暁	機能性紙
11	福垣内 暁	芭蕉和紙プロジェクト
12	深堀 秀史	環境をきれいにする紙 ～紙で水中や空気中の環境汚染物質を除去する～
13	秀野 晃大	バイオリファイナリー ～広がる草、木の可能性～
14	高橋 学	ものづくり産業と暮らしの大変革期
15	山本 智規	ものづくりとメカトロニクス
16	入江 賀子	再生可能エネルギーをデザインする
17	李 賢映	地球温暖化と私たち
18	笠松 浩樹	地元で学ぶ「地元学」
19	笠松 浩樹	人口減少は悪なのか！？ - 農山漁村から未来の可能性を考えよう -
20	淡野 寧彦	「郷土食の過去・現在・未来を探る - 愛媛県の「いずみや」「丸ずし」を知っていますか？ -」
21	牛山 眞貴子	スポーツの力～【よいコミュニケーション】で、もっと輝く！ ～高校生の「コミュカ」を応援します～
22	山中 亮	地域を元気にするスポーツのちから
23	山本 直史	健康づくり施策について考えよう！ アクティブガイド2013を知っていますか？
24	浅井 英典	今の自分のからだを振り返り、20歳以降のからだの変化を考えてみよう！
25	高橋 敏明	競技力向上のためのスポーツ医科学入門

No. 1

環境デザイン学科 ◎榑原 正幸, 産業マネジメント学科 西村 勝志	講義時間／受講人数
【講義テーマ】／担当教員	講義時間 50分
社会共創学 一地域社会の未来を共に創る 人材をめざそう！	受講人数 制限なし
「社会共創学」は、地域社会が抱える課題を解決し、その持続可能な発展に貢献するための学問です。愛媛大学社会共創学部では、文系・理系の両方の知識と学問的思考に基づいて、地域の人々と共同で地域が抱える課題を解決する道筋を理論的および実践的に研究し、この新しい学問分野の確立を目指します。本講義では、この学問が生まれた地域の現状とこの学問分野が発展する可能性についてわかりやすく解説します。また、開発途上国の環境問題についても事例を基にお話します。	
□実施校において準備が必要なもの	
プロジェクター、スクリーン	

No. 2

産業マネジメント学科 ◎岡本 直之、徐 祝旗, 廣垣 光紀、山口 信夫	講義時間／受講人数
【講義テーマ】／担当教員	講義時間 50分
身近なビジネスの仕組み	受講人数 制限なし
みなさんはどのような企業を知っていますか？トヨタ、Apple・・・巨大なグローバル企業ですね。でも実は私たちの身近にもすごい企業、すてきな企業はたくさんあります。そのような企業がどのような事業をやっているか、どのような特徴があるかを見ていくと、経営学・経済学から身近な地域・社会まで幅広いことが見えてきます。企業を知ることで社会を身近に感じてみませんか。	
□実施校において準備が必要なもの	
プロジェクター、スクリーン、スピーカー(PC映像用)	

No. 3

産業マネジメント学科 ◎岡本 隆、川口 和仁, 曾我 亘由、野澤 一博	講義時間／受講人数
【講義テーマ】／担当教員	講義時間 50分
経済学っておもしろい！	受講人数 制限なし
経済学って縁遠いもの、難しいもの、お金儲けの学問などと勘違いしていませんか？経済学は、人間の行動を分析し、社会の「幸せ」を高める方法を考える、すごく身近な学問なのです。「定価9800円のところ4700円で販売」の広告がものすごくお得に思えてつい買ってしまふのを分析する、これも経済学です。経済学のおもしろさに触れてみませんか。	
□実施校において準備が必要なもの	
プロジェクター、スクリーン	

No. 4

産業マネジメント学科 ◎谷本 貴之、折戸 洋子, 崔 英靖、園田 雅江	講義時間／受講人数
【講義テーマ】／担当教員	講義時間 50分
身近な話題から経営学を知ろう！	受講人数 制限なし
私たちのまわりにはたくさんの製品やサービスがあります。そのなかにはヒットしていたり、ロングセラーになっていたりするものもありますが、それは偶然そうだったのではなく、背景に企業の綿密な戦略があることが多いです。みんなが知っている身近な話題から経営学のおもしろさを感じてみませんか。	
□実施校において準備が必要なもの	
プロジェクター、スクリーン	

No. 5

産業イノベーション学科 若林 良和	講義時間／受講人数
【講義テーマ】／担当教員	講義時間 50分
「ぎょしょく」で地域の水産物を理解する	受講人数 上限40人
昨今、私たちの食生活のあり方が見直され、いろんな生活シーンで食育の実践が試みられています。そのなかで、魚も重要な位置を持っています。その魚のことを総合的に理解するための考え方が「ぎょしょく」教育です。(この「ぎょしょく」は決して「魚食」だけでなく、多様な意味があります。)この点に注目して、私たちの身近にある地域の魚について理解を深めましょう。	
□実施校において準備が必要なもの	
プロジェクター、スクリーン	

No. 6

産業イノベーション学科 ◎後藤 理恵、松原 孝博	講義時間／受講人数
【講義テーマ】／担当教員	講義時間 50分
新養殖魚「スマ」の研究開発を通じて	受講人数 制限なし
現代では、マグロ類はサーモンと並んで回転寿司などで大人気の魚です。中でもクロマグロはこうした人気が原因で、獲り過ぎによる天然資源の減少が懸念されています。愛媛大学ではクロマグロに匹敵する味の「スマ」という小型マグロの養殖技術に関する研究を地域一体となり進めています。今回は、スマの完全養殖に至るまでの経緯や今後の研究展開などを生命科学の視点から詳しく解説します。	
□実施校において準備が必要なもの	
プロジェクター、スクリーン	

No. 7

【講義テーマ】／担当教員 産業イノベーション学科 ◎松原 孝博, 清水 園子

講義時間／受講人数

愛媛県の赤潮と漁場環境

講義時間 50分

受講人数 制限なし

愛媛県は水産養殖業の盛んな地域ですが、安定的に養殖を行う上で赤潮が大きな問題となっています。魚介類の斃死や貝毒被害などをもち、さまざまな種類の赤潮についての詳しい解説と、赤潮対策に関する最新の取り組みについて紹介します。

□実施校において準備が必要なもの

プロジェクター、スクリーン

No. 8

【講義テーマ】／担当教員 産業イノベーション学科 内村 浩美

講義時間／受講人数

紙の機能と新たな紙製品開発の可能性

講義時間 100分

受講人数 上限40人

～おもしろい紙を発明しよう！～

身近な紙製品とその機能について、実験を交えながら講義します。具体的には、多様な紙製品について、サンプルを回覧しながら紹介し、それらの機能について概説します。その一例として、お札(日本銀行券)の機能と偽造防止技術についても紹介します。そして、新しい紙(こんな紙があったらいいなあ～)の開発について、実験を交えながら分かりやすく講義するとともに、大学の最先端研究についても紹介します。

□実施校において準備が必要なもの

プロジェクター、スクリーン

※簡単な実験を行います。教室等の設備に応じて実験内容を検討しますので、教室について(水道設備の有無、火気の使用可など)ご相談させていただきます。

No. 9

【講義テーマ】／担当教員 産業イノベーション学科 藪谷 智規

講義時間／受講人数

紙や小型装置を利用した分析・検査法

講義時間 50分

受講人数 上限40人

紙は軽く、安価で、溶液を容易に流すことができる(毛細管現象)ため、簡易な分析・検査に適した素材です。感染症の爆発的な拡大(パンデミック)や広域な環境汚染などでは、被害を最小限にするために、「その場」で迅速に分析検査を行う必要があります。そのためには、取り扱いに優れ、持ち運びが可能な小型分析・検査装置が求められます。紙や小型装置を利用した分析・検査法の研究の現状や今後の展望について紹介します。

□実施校において準備が必要なもの

プロジェクター、スクリーン

No. 10

【講義テーマ】／担当教員 産業イノベーション学科 福垣内 暁

講義時間／受講人数

機能性和紙

講義時間 50分

受講人数 上限50人

和紙は、自然素材であることや独自の風合いを持つことから、雑貨・インテリア・リフォーム素材などとして注目されています。また、近年の消費者の健康志向から、和紙に機能性を持たせることで、快適な住空間形成の検討がなされています。本講義では、臭いなどを吸着できる機能性物質を和紙繊維に接着させた機能性和紙について、技術的な内容や展開事例も含め解説します。

□実施校において準備が必要なもの

プロジェクター、スクリーン

No. 11

【講義テーマ】／担当教員 産業イノベーション学科 福垣内 暁

講義時間／受講人数

芭蕉和紙プロジェクト

講義時間 50分

受講人数 上限50人

芭蕉は愛媛県内子町をはじめとした南予地方に植生している植物です。葉はお盆の棚飾りに使用されていますが、茎は廃棄されています。そこで我々の研究チームは芭蕉の茎から繊維を取り出しシート化することで薄く透明な紙を得ることに成功し、これを、芭蕉和紙と名付けました。本講演ではこれまでの取り組み内容のご紹介に加えて、今後の活動計画についてお話ししたいと思います。

□実施校において準備が必要なもの

プロジェクター、スクリーン

No. 12

【講義テーマ】／担当教員 産業イノベーション学科 深堀 秀史

講義時間／受講人数

環境をきれいにする紙 ～紙で水中や空気中の環境汚染物質を除去する～

講義時間 50分

受講人数 上限40人

皆さんの身の周りにどんな紙がありますか？従来、紙は「書く」「包む」「拭く」ために用いられていましたが、最近では、紙といろいろな材料と組み合わせて新しい機能を付与した紙「機能紙」の研究が行われており、環境浄化、エネルギー生産、物質合成などの分野で使われる紙も開発されています。一見、地味だけれども、発想次第で無限の可能性を秘めた次世代の「紙」を一緒に考えてみませんか？

□実施校において準備が必要なもの

プロジェクター、スクリーン

※簡単な実験を行います。教室等の設備に応じて実験内容を検討しますので、教室について(水道設備の有無、火気の使用可など)ご相談させていただきます。

No. 13

【講義テーマ】/担当教員	産業イノベーション学科 秀野 晃大	講義時間/受講人数	
バイオリファイナリー ～拡がる草、木の可能性～		講義時間	50分
		受講人数	上限80人
再生産可能で地球上に大量に存在する「バイオマス」およびバイオマスを主原料として燃料や化成品を生産する「バイオリファイナリー」について概説します。具体例として、草木から作る事が出来るセルロースナノファイバーやバイオエタノールに関する歴史、現状、生産技術等について紹介します。			
□実施校において準備が必要なもの			
プロジェクター、スクリーン			

No. 14

【講義テーマ】/担当教員	産業イノベーション学科 高橋 学	講義時間/受講人数	
ものづくり産業と暮らしの大変革期		講義時間	50分
		受講人数	制限なし
18世紀後半にイギリスから起こった産業革命から工業社会、情報社会、そして超スマート社会へと変遷しようと現代において、ものづくり産業がこれまでどのように関わり、将来どのように変わっていくのか、AIやIoTが急速に発達する現在において我々人間や社会、地域が豊かな生活をおくるにはどうなれば良いのかを皆さんと共に考えていきます。また地域のものづくり産業を発展に導く人材像についても考えていきます。			
□実施校において準備が必要なもの			
プロジェクター、スクリーン			

No. 15

【講義テーマ】/担当教員	産業イノベーション学科 山本 智規	講義時間/受講人数	
ものづくりとメカトロニクス		講義時間	50分
		受講人数	制限なし
ものづくりに欠かせない要素であるメカトロニクスについて、事例を挙げて紹介します。また、これからのものづくりの場面でメカトロニクスやコンピュータ、ロボット技術などがどのように活かせるかを解説します。 また、社会共創学部の紹介と、これから必要とされるであろうものづくり人材について説明します。			
□実施校において準備が必要なもの			
プロジェクター、スクリーン			

No. 16

【講義テーマ】/担当教員	環境デザイン学科 入江 賀子	講義時間/受講人数	
再生可能エネルギーをデザインする		講義時間	50分
		受講人数	制限なし
社会共創学部では、文系と理系の知識を総合して様々な地域の課題を解決していく方法を学んでいきます。では、具体的にどのように、そのような総合的な知識の活用を行っていくのでしょうか。再生可能エネルギーを例にとりて学んでいきます。講義では、再生可能エネルギーの文系的な知識としての経済面の知識と、理系的な知識としての環境面の知識を両方用いて、再生可能エネルギーを設計(計画)していく枠組みについて、具体例をもとに解説します。			
□実施校において準備が必要なもの			
プロジェクター、スクリーン			

No. 17

【講義テーマ】/担当教員	環境デザイン学科 李賢映	講義時間/受講人数	
地球温暖化と私たち		講義時間	50分
		受講人数	上限50人
地球温暖化緩和に向けての国際社会の協力を妨げている要因は？我々の日常生活の中で地球温暖化を加速化させている意外なものとは？新しい温暖化緩和策とは？地球温暖化をグローバルそしてローカルの観点から見つめ直し、地域社会の市民として我々ができることを一緒に考えてみましょう。			
□実施校において準備が必要なもの			
プロジェクター、スクリーン			

No. 18

【講義テーマ】/担当教員	地域資源マネジメント学科 笠松 浩樹	講義時間/受講人数	
地元学ぶ「地元学」		講義時間	50分
		受講人数	制限なし
過疎・高齢化が進む農山漁村。「ここには何も無い」、「街へ行っていない仕事に就け」と言われる時代は過ぎました。これからの未来は農山漁村にあります。 何の変哲もない暮らしから、知恵や技を引き出してみると、素晴らしいことや凄いことがたくさんあります。それを実践する方法が「地元学」。学問ではなく、「地元学ぶ」姿勢を指しています。 本講義では、これまでに実践した「地元学」の事例を紹介し、地域が元気になった経緯を解説します。住民の心に寄り添うことから始まる地域づくりの極意を伝授します。			
□実施校において準備が必要なもの			
プロジェクター、スクリーン			

No. 19

【講義テーマ】/担当教員	地域資源マネジメント学科 笠松 浩樹	講義時間/受講人数	
人口減少は悪なのか！？ ー農山漁村から未来の可能性を考えようー		講義時間	50分
		受講人数	制限なし
日本では人口減少が問題視されていますが、世界では依然として増え続けています。科学技術が進展する一方で、10年後には今ある仕事の半分がなくなるという予測も出始めました。高校生のみなさんが社会で活躍する頃はどのような世の中になっているのでしょうか。本講義では、人口減少を資源、経済、環境との関連性から肯定的にとらえ、地方や農山漁村に着目し、双方向型の授業の中で未来志向の生き方を考えます。一緒に新たな答えを探りましょう。			
<input type="checkbox"/> 実施校において準備が必要なもの			
プロジェクター、スクリーン			

No. 20

【講義テーマ】/担当教員	地域資源マネジメント学科 淡野 寧彦	講義時間/受講人数	
「郷土食の過去・現在・未来を探る ー愛媛県の「いずみや」「丸ずし」を知っていますか？ー		講義時間	50分
		受講人数	制限なし
多様な気候や地形のもとにある日本では、各地域の環境条件に影響を受けた特色ある料理、すなわち郷土食が生まれ、長く伝わってきました。しかし現代社会では、利便性の向上によって私たちの暮らしが豊かになる一方で、郷土食を食べる機会が少なくなり、その価値も見過ごされつつあります。愛媛県の郷土食の1つである「いずみや」「丸ずし」とも呼ばれるも、同じような状況にあります。郷土食を単に昔からのものとして見るのではなく、現代的価値について再検討したり、どのようなかたちで未来に伝えていけばよいのか、考えてみましょう。			
<input type="checkbox"/> 実施校において準備が必要なもの			
プロジェクター、スクリーン			

No. 21

【講義テーマ】/担当教員	地域資源マネジメント学科 牛山 眞貴子	講義時間/受講人数	
スポーツの力～【よいコミュニケーション】でもっと輝く！ ～高校生の「コミュカ」を応援します～		講義時間	50分
		受講人数	上限40人
勝利の歓喜、敗北の涙、「スポーツの良さはチームの目標に向けて見返りを求めず自分自身が努力できること」・ラグビー五郎丸歩選手はどんなに自分にスポットがあたってもチームメートと観客を讃え、どんなに疲れていてもラグビーとスポーツのために試合後インタビューに快く応じます。大人の対応ができる素晴らしい人です。これからのグループディスカッションなどのチームでの活動には「コミュカ」が求められます。そして周囲と【よい関係】を築ける人が「人」や「社会」に力を与えます。この講義では実際に体を動かして、お互いの心地よい距離、力加減、間合い等の「相手を読み解き、つなぐ」術を学びます。運動が得意・不得意、男・女、先生・生徒等関係なく、誰でも取り組むことができる運動の時間を提供します。			
<input type="checkbox"/> 実施校において準備が必要なもの			
CD対応プレーヤー、ワイヤレスマイク1本、武道場・小体育館くらいのサイズで運動できるスペース、運動できる服装、室内用運動シューズ(シューズは着用しなくても可能)			

No. 22

【講義テーマ】/担当教員	地域資源マネジメント学科 山中 亮	講義時間/受講人数	
地域を元気にするスポーツのちから		講義時間	50分
		受講人数	制限なし
オリンピックなどの世界的なスポーツイベントでは、ハイレベルなプレーが繰り広げられますが、プレーと同様に様々な感動も生まれます。その感動などによって人々はスポーツから大きな力をもらいます。そのスポーツの持つちから(特に地域を元気にするちから)について、東日本大震災の時復興の象徴となったフラダンスや国際的スポーツイベントを題材に、地域を元気にするスポーツのちからやスポーツの本質に触れてみましょう。			
<input type="checkbox"/> 実施校において準備が必要なもの			
プロジェクター、スクリーン、スピーカー			

No. 23

【講義テーマ】/担当教員	地域資源マネジメント学科 山本 直史	講義時間/受講人数	
健康づくり施策について考えよう！ アクティブガイド2013を知っていますか？		講義時間	50分
		受講人数	制限なし
体を動かすことは健康の維持増進に有効なのは言うまでもありません。しかしながら、定期的に運動を行う人の割合はここ10年増えていません。さらに、身体活動量の指標である1日の総歩数はどの世代も年々減少し続けています。このような現状を打破するために、国はどのような施策を実施しているのでしょうか？本講義では、2013年に発表されたアクティブガイド2013の解説を中心に、皆さんと一緒に国民全体の身体活動量をどうしたら増加できるのか考えます。			
<input type="checkbox"/> 実施校において準備が必要なもの			
プロジェクター、スクリーン			

No. 24

【講義テーマ】/担当教員	地域資源マネジメント学科 浅井 英典	講義時間/受講人数	
今の自分のからだを振り返り、20歳以降の からだの変化を考えてみよう！		講義時間	50分
		受講人数	制限なし
健康を維持するためには、自分のからだの状態を知っておくことは大切なことです。10歳代は、筋肉や呼吸循環系そして骨格が大幅に成長する時期です。自分の筋肉や呼吸循環機能を向上させることは健康や体力の向上に直結します。また、日頃の姿勢の良否は、骨の形成にも強く影響します。からだのことを知り、自分のからだの現在地を考えましょう。更に私達のからだの機能は、20歳代をピークにして低下していきます。30歳代以降も体力や体型・姿勢を維持するための方法についても考えてみましょう。			
<input type="checkbox"/> 実施校において準備が必要なもの			
プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード			

【講義テーマ】／担当教員 地域資源マネジメント学科 高橋 敏明 講義時間／受講人数

競技力向上のためのスポーツ医科学入門

講義時間 50分

受講人数 制限なし

スポーツ競技がうまくなるにはどのようにしたらいいでしょうか。
練習を一生懸命するだけでは必ず限界はあります。
そこで、スポーツ医科学の基本的な知識を身につけて、さらに上手に強くなりましょう。
また、スポーツ障害の種類やその対応についても学び、実践に役立てましょう。

実施校において準備が必要なもの

プロジェクター、スクリーン